



たかあら まゆ
高荒 真優さん

● 常盤小6年

美容師を目指して

私は将来、美容師になりたいと思います。その理由は、私が美容院に行った時に、私がお願いした通りのかみ型にお店の人が仕上げてくれたので、とてもうれしい気持ちになったからです。

高校を卒業したら、美容師の専門学校に進学して一生けん命勉強したいです。そして、将来は自分のお店を持ちたいと思います。

私が美容師になったらお客さんにお願いされた通りのかみ型にして、たくさんの人を笑顔にしたいと思っています。

みんなの広場に 出てみませんか？

「すてきな仲間たち」「めおと人生」に登場していただける方を募集しています。自薦・他薦は問いません。
※「すてきな仲間たち」「めおと人生」は隔月で掲載します

■問合せ

政策調整課広報聴係
☎(20)3037

すてき **仲間** たち

空手道 如心館



私たち如心館では、亀山師範指導のもと、元気に明るく、時には厳しく稽古をしています。

小学生・中学生を中心に、高校生や女性、働いている方々といったさまざまな方々が、それぞれの目的を持ちながらも心をつにし、稽古に励んでいます。

子どもたちにおいては、社会生活での基本的な挨拶や礼儀作法、言葉遣いや協調性を学ぶことができます。また、空手を修練する中で大きな自信を得ているようです。

空手に興味のある方、私たちと一緒に稽古をしませんか。見学・体験大歓迎です。皆さんのお越しをお待ちしています。

- 活動時間 毎週金曜日午後7時～9時
- 活動場所 佐野市武道館
- 連絡先 亀山☎(67)1012



今回の表紙 あしぐろ 「芦蛙の獅子舞」並木町の花岡地区にて

7月15日(日)、並木町の花岡地区で、市の無形民俗文化財に指定されている厄除けの行事「芦蛙の獅子舞」の例祭が行われました。

本年7月には約750年前から一度も交換されていないと言われる獅子頭が新調され、今回は、新しい獅子頭で初となる例祭となりました。

おか みのる
岡 實さん
(田沼町)



○プロフィール
昭和20年9月23日生まれ
・(株)岡塗装店会長
・「写友・光と影」会員
・今年4月に行われた佐野商
工会議所と佐野市観光協会
主催の第8回写真コンテ
ストでグランプリを受賞

キラリ★ 話題の「ひと」

心に残る風景写真

今年4月に行われた佐野商工会議所と佐野市観光協会主催の第8回写真コンテストにおいて、岡さんの「天狗岩の晩秋」が、グランプリに選ばれました。

このコンテストは、「I LOVE SANO 佐野の春夏秋冬の風景とイベント」をテーマに、佐野をもっと好きになれる作品を募集したもので、応募された写真190点の中から、選ばれました。作品は、小雨の降る中、唐沢山を訪れた時、天狗岩付近のもみじの真っ赤な落ち葉が、雨に濡れ、赤みを増し、とてもきれいな光景だったので、心の中で構図を決め、撮影したそうです。「この作品がグランプリに選ばれ、驚いています。とても光栄に感じています」と、おっしゃっていました。

写真歴は20年になるそうですが、これまでも、旧田沼町で発行されていた広報カレンダーに、写真が採用されるなどの実力の持ち主です。現在も仕事をしているので、撮影は数少ない休日を利用したり、出勤前日の出の1時間前に出掛けるそうです。冬の時期は一番冷え込む時間帯での撮影になるので、防寒対策が大変だそうですが、趣味のためなので、辛いと思ったりはしないそうです。心に残る風景写真を撮りたいと、



▲「天狗岩の晩秋」
(真っ赤なもみじを写した美しいお写真です)

撮影に出掛けるそうですが、天候次第で、幻想的な自然の風景に巡り合った時は、本当に感動するそうです。でも「そういうチャンスはめったにないことですね」とのことでした。撮影地では、いろいろな人と出会い、会話を交わしたりすることが楽しみでもあるそうです。

現在は、写友・光と影(写真クラブ)に入会し、勉強会に出席して、皆さんから教えていただきながら、次の作品展に向けて、撮影を続けているそうです。

作品を見せていただいて、岡さんの仕事に対する審美眼が、そのまま撮影した写真に現われているように感じられました。これからも素晴らしい写真を通じて、私たちを感動させていただきたいと思います。

(市民記者 山口万里子)

市長からの メッセーヅ



先月6日に福島県南相馬市、11日に宮城県多賀城市に出張しました。両市には被災地支援のため、本市から1人ずつ職員を派遣しています。当日はご挨拶をした後、被災地の復興状況を視察させて頂きました。

南相馬市は、津波の被害もさることながら、放射能の影響が深刻です。市の南部は居住制限区域で、倒壊した家屋もそのままに放置され、誰一人住んでいない無人の街です。復興に向けた道のりの長さを考えると、暗澹たる思いがしました。

多賀城市は、市の南東部を中心に、地域の3分の1が津波の被害にあいました。他の被災地同様、がれき処理の問題が深刻でしたが、市が独自にがれき処理施設を建設し処理することで、被災した自治体の中でも特にがれき処理が進んでいます。菊池多賀城市長のリーダーシップによる復興への取り組みは、非常に見習うべきものがあると感じました。

こうした市に比べ、本市は自然災害が少なく、大変恵まれていることを今更ながら痛感しました。今後も被災地復興を精一杯応援したいと思っています。

さて、夏と言えば「祭り」です。先月29日の「たぬまふるさと祭り」を皮切りに、8月10・12日に「さの秀郷まつり」、27・28日「くず原人まつり」と続きます。また、15日には三轟山「大文字焼き」もあります。各祭りとも盛りだくさんのイベントが行われますので、多くの方の参加をお待ちしています。

暑い日が続きます。水分補給を忘れずに、元気に夏をお過ごしください。

岡部正英